

11:25 兄弟たち。私はあなたがたに、ぜひこの奥義を知っていただきたい。それは、あなたがたが自分で自分を賢いと思うことがないようにするためです。その奥義とは、イスラエル人の一部がかたくなになったのは異邦人の完成のなる時までであり、

11:26 こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。こう書かれているとおりで、「救う者がシオンから出て、ヤコブから不敬度を取り払う。」

11:27 これこそ、彼らに与えたわたしの契約である。それは、わたしが彼らの罪を取り除く時である。」

11:28 彼らは、福音によれば、あなたがたのゆえに、神に敵対している者ですが、選びによれば、先祖たちのゆえに、愛されている者なのです。

11:29 神の賜物と召命とは変わることがありません。

11:30 ちょうどあなたがたが、かつては神に不従順であったが、今は、彼らの不従順のゆえに、あわれみを受けているのと同様に、

11:31 彼らも、今は不従順になっていますが、それは、あなたがたの受けたあわれみによって、今や、彼ら自身もあわれみを受けるためなのです。

11:32 なぜなら、神は、すべての人をあわれもうとして、すべての人を不従順のうちに閉じ込められたからです。

11:33 ああ、神の知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょうか。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、その道は、何と測り知りがたいことでしょうか。

11:34 なぜなら、だれが主のみこころを知ったのですか。また、だれが主のご計画にあずかったのですか。

11:35 また、だれが、まず主に与えて報いを受けるのですか。

11:36 というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。

神様はイスラエルに御自身を表しましたが、それは律法の行いでは救われないということを明かにするためにした。イスラエルは神から捨てられることによって、その働きをしたとも言えるのですが、それでは神様の愛が成り立ちません。

神様は「イスラエルはみな救われる」という民族的な救いを用意して、愛を実現なさるということです。私たちにとっても同じ神様です。「神の賜物と召命は変わることがない」のです。クリスチャンは選ばれたものですから、その確かさを確信して感謝しましょう。

このイスラエルを霊的なイスラエルであるとして、クリスチャンを指すのだという解釈もありますが、パウロが同胞と言っていることからすると、無理な解釈です。イスラエルは歴史上のイスラエル民族です。だからこそ神は歴史を導くことができるのです。

「ああ、神の知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょうか。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、その道は、何と測り知りがたいことでしょうか。」という通りです。私たちの人生においても神様のみわざを思って、主の驚くべき御計画に感謝しましょう。自分の人生に主の御手を見出して、そのご計画に沿って行く決断をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

